

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームのぞみ

作成日 令和 年 月 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	19	今年は2月頃から、コロナウイルス感染が拡大となり、家族の面会が出来ない状況が長い期間続きました。普段の元気な様子を見る事が出来ない。	①どんな状況においても、入居者様や家族様が寂しい思いをされないように、創意・工夫を行い、温かく安心した気持ちで過ごせるように努めていく。 ②ご本人のご家族への思いを代弁していくことでOJTにもつなげたい	①面会が出来なくなってから、家族様には日々の様子、イベント等、笑顔の写真を便り一面に載せた個別お便りをお送りしてお伝えする。些細な用事があった際にも現状のご様子をお伝えしていく。 ②ご本人の思いを傾聴し、そんな思いをご家族に伝え、そしてスタッフにはスポットライトを当てる。	1年
2	3	コロナ禍の影響もあり、地域運営推進会議をはじめとする外部、地域に出ていくことが現状できていないことで外部との繋がりに関して普段のケアや研鑽の部分を活かすことが出来ていない。	①地域運営推進会議が開催されていなくとも書面にて議事録があるので、地域への発信やコロナ禍が落ち着いたら他のグループホームとの連携も行っていきたい。 ②地域とのつながりをスタッフみなので持ちたい	①書面開催である地域運営推進会議の議事録も全職員閲覧および押印をしていく。 ②フロア会議などでも地域とのつながりを意識できる様な発言や説明、話をしていく。	1年
3	49	日常的な外出支援コロナ禍の影響で外出や外食が出来ない状況になり、家族様との外出、外泊もできなくなっている。外部との繋がりが遮断される状況になった。	①コロナ禍が落ち着いた際には以前の様に外出レクリエーションなどの企画をする。 ②現状、外出できていないが、ホーム前の畑など観戦リスクが少ない状況での外出、太陽の光を浴びるなど企画、実行していく。	①今からコロナ禍が落ち着いた際の外出計画を立て、ご利用者、職員共に楽しみにできる取り組みを行う。 ②早速、企画していく。	1年
4	29	今年はコロナウイルス感染が拡大になり、外出レク、ボランティア訪問が中止となり、外部との繋がりが遮断される状況になった。	面会が出来なくなってから、家族様には日々の様子、イベント等、笑顔の写真を便り一面に載せた個別お便りをお送りしています。	毎週、一回は散歩に行けるように表をさくまた、コロナ禍の為、個別にドライブに出かけ、季節や景色を楽しめるように	1年
5	5	コロナ禍において身体拘束委員会と運営推進会議を同日に行っていないこと	①身体拘束委員会と運営推進会議を同日に行うことで地域の方たちに対しても身体拘束防止の取り組みについて意見を頂くことで更に防止への取り組みとしたい。	①コロナ禍が落ち着いた際には、目標に掲げた様に身体拘束防止委員会と地域運営推進会議を同日に開催できる様に調整していく。	1年
6	15	コロナ禍の影響で外食自粛となり、施設外での、食事が出来なくなった。	①コロナ禍が落ち着いた際には外食できる ②宅配サービスの活用を行い、味覚の刺激、楽しみの一助にしたい	①コロナ禍が落ち着いた際に速やかに実施できる様、今から計画構想を練っていく。 ②外部評価にてご意見いただいた様に、宅配サービスの活用などホーム内で検討し、楽しみの一つとして提供していく。 追伸：お正月は宅配を発注いたしました。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。